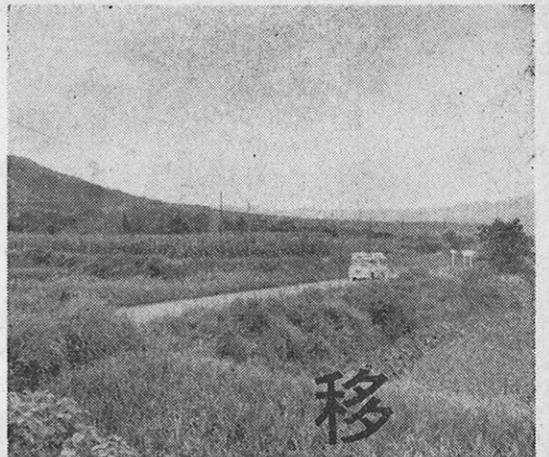


移動県政相談

阿蘇路へ



県政をあずかる知事と、県政をあづけた県民とが、じかにひざを交えて話し合い、相互に理解を深める。ここから県政が始まる。本年度第一回の移動県政相談は、盛況のうちに多くの収穫を得た。

今年初の移動県政相談は、九月一日、三日の両日、秋晴れの阿蘇路で開催された。

一の宮町、阿蘇町、白水村、長陽村の各会場とも、はち切れんばかりの盛況で、質問も、県側の答弁も熱のこもつたものとなり、大きな成果をあげた。各会場とも、開会にあたって、知事は、県政の現況報告を含めて、概ね次のように挨拶した。

「本年度上半期の大きな問題は、やはり災害であった。災害は、どうしても多額の出費を伴い、熊本県経済に大きな影響を及ぼす。東北が冷害で騒がれてきたが、冷害が一年の収入を失うのに比べ、災害は、一

举に多年の蓄積を失なってしまう。災害は、県の所得を伸ばす上で大きな障害となっているわけである。事実、東北では、次第に所得の伸びすら見られる。また、宮崎県の県民所得が、最近伸びてきているのも、これまた、この十年来、災害のないことが原因となっているといえる。

本県としては、この災害復旧に、最大の努力を続けており、補助率でも格段に有利な激甚災害地の指定も受けた。できるだけ良い条件で、災害復旧をやりとげたいと考えている。

農業は、まず米が、県北で平年作よりやや良、県南でやや悪く、一応平年作になるようだ。果樹は、栗などがかなり伸

二六五号線は、交通量が少ないという

ことで、建設省も予算をつけないが、予算獲得に力を入れている。道路問題について、少し説明しておくと、国道五七号線は、一の宮以西の整備を終ることを当面の目標として建設者も予算をつけており、立野坊中間五億一千萬、立野は一億しか承認にならなかった。立野が残される格好になる。そこで、とりあえず、単独県費で、立野の防塵舗装を一、一〇〇万円で終った。

ともあれ、一の宮以西を早急に解決し、さらに以東にかかりたいと考えるので御了承願いたい。

青年の家までの道路は、やっぱ単独県費ということになり、約三千五百万円程度が必要なので、できる限りの努力をしたい。

九州横断道路の完成後、後始末がまだできていない。県の方で責任をもってやってほしい。

横断道路の建設は道路公団と県の工事が、最も難工事といわれた城山の部分が、県の受け持ちだった。工事は、龍の部分、中腹の部分、頂上の部分と三工区に分けて進められ三五年から始まつたわけであるが、上と下とを受け持つた業者が工事が渉らず、やむなく、真中の部分は非常にやりにくかったが、中央の大手会社に発注したほどだった。この上と下とを受け持つた業者が、地元の皆さんに迷惑をかけたわけで、排土も、黒川の廃川敷に持っていくなど、ことだつたが、

それもしていないようだ。

直ちに真相を究明して、迷惑のかからぬようにして。いずれにせよ、知事の責任において解決したいと考えている

国は、砂防工事をしたが、黒川は、八合目まで砂で埋まっている。

この改修をやつてもらいたい。

その問題は早急に調査して検討す

る。九月四日の早朝から実地調査するこ

とを約束できる。(拍手)

米価引上げで、所得が増えるとい

うが、五反百姓の生活は苦しい。何らかの形で農家を救つてほしい。

現在の形態のままでは、所得増加ある

いは生産性の向上をねらうのでは、特効的な方法はないし、しかいえないのではないか。共同化なども含めた経営規模の拡大で行くべきだろう。

阿蘇の場合、米プラス酪農もしくは肉牛で、農業構造の改善をはかる必要がある。そのためには、牧野改良を進める。

は場整備を進める。余力で畜産を進め

る。などをやつていきたい。

手野地区の豊富な水量を利用し、水産試験場を誘致できないか。

現在、淡水魚関係の試験場は、八代のウナギ、山江のマスと二ヵ所がある。

また湯前や、湯山からの誘致もあるが、球磨郡のこうした熱心な動きのなかで、これを廢止して阿蘇へ持つてくるのは、なかなか問題はある。しかし、手野は、非常に良い条件だと思っている。

中学から高校へ進学するのに、郡部から市内への高校に入る場合、一割五分に押えられていると聞くが、

教育委員会で一割五分と決定した。

これは、本来各学校間の格差がなくなることが本当ではないかという考えによる

もので、優秀な生徒に地域内に残つても

らつて、質的にも向上させていきたい。

外輪山の阿蘇スカイラインは、どう考へておるか。公団にやらせるか、県でやるか。

スカイラインは、今年から調査をはじめるところになっている。水源から立門までは、既に県でやつており、スカイラインは、公団でやることになっている。

これは、本来各学校間の格差がなくなることが本当ではないかという考えによる

例えは国道でも県が二五%出し、県道でも国が二五%出しているというように入り組んでいる。検討させてもらいたい。

財源にらみ合わせてやることで、

法で改良の上、国道からはずすので不便はかけない。

阿蘇郡の道路はたしかにひどい。

時々バスを入れてあるが、自転車も通れない。

ひと頃、バスもよう入れん、とお叱りをうけたが、やつと、バスを入れて自転車が通れんというお叱りになつた。(爆笑) 阿蘇の道路には力を入れつもりがあるので協力を願いしたい。

蚊とハエをなくする運動とかで、

一の宮町 やはり多い道路問題

一の宮町中通にバスの通る道を作つてもらいたい。また二六五号線の全線改修と国立青年の家の通ずる道

路の改修をお願いする。

中通のバス道路は、町道のようであるので一度調べて善処したい。

び、麦、煙草もおかげでうまく行きそうだ。工場誘致は、全国的な不況で、設備投資が抑えられているため、足込み状態だが、今は、受け入れ体制を整える時期だと思ふ。景気回復時には、いつでも受け入れができるよう基盤を整えつてある。

観光面では、ここ二、三年の間に、いわゆる九州横断道路沿いの阿蘇、天草のラインだけで五四億円程度の観光投資が行なわれている。さきの、宮崎県の県民所得躍進の原因のひとつが、観光収入の増加にあるともいわれている点から、今後本県の、特に阿蘇の観光には、大いに期待したいと考える。

阿蘇町 観光と畜産と人づくり

国道五七号線の坊中—宮地間の道

路はひどい。バイパス道はどうなるか。

今年一年間でぜひやつて欲しいと建設省に要望した。一応六億一千万円の予算がつき、用地買収も済んだということではつとしている。国道はつけ替ええども、特殊改良三種事業の方